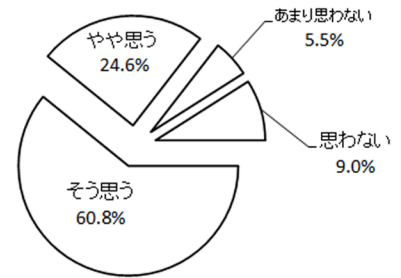


2 家族とのかかわり・相談 連携 ④⑤⑥⑦

児童は概ね困ったことがあれば、おうちの方に相談できています。保護者様は、会話を通して子どもたちを十分見守り、学校との連絡を密にされている様子うかがえます。一方児童の「思わない」回答が昨年より増え、相談ができずより満足できるかかわりを求めている児童がいることが伺えます。学校でも児童のSOSのサインを受け止め、SC、SSWと連携を図りながら不安や困りに寄り添い関わっていきます。お子様様は、各家庭へ連絡帳や通信にて話題提供し、学校とご家庭の連携を密にするよう努めてまいります。また関係機関等、専門の相談もごさいますのでいつでもご連絡ください。

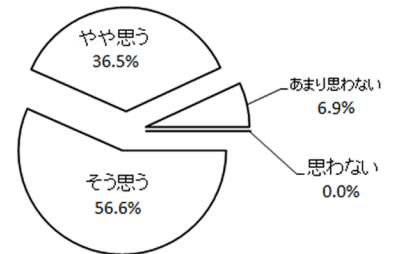
【問5】わたしは、こまったことがあれば、おうちの人に
そうだんするようにしている。



3 人権教育 自尊感情 仲間づくり⑩⑪

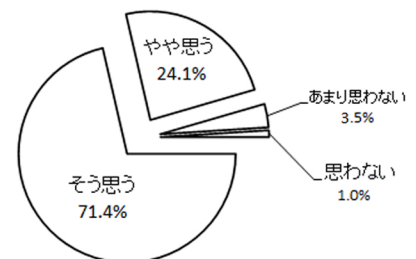
多くの児童の自尊感情が育っています。小中の合同行事や活動を通して、違いを認め支える姿、助け合う姿が見られます。「自分ではできる！たのしい！」と実感できる学びを積極的に取り入れ、安心して活躍できる場をさらに増やしていきます。また、日常の様々な場面で肯定的な声かけを行い、子どもたちが、達成感、満足感の得られる教育活動を展開していきます。さらに、よりよい自分や仲間同士高め合う姿をめざして取り組んでいきたいと思ひます。

【問10】学校は、道徳の授業や人権学習をとおし…ない
心や生命を尊重する教育活動を温めている。



「親子人権講演会」や多文化共生の出前授業では、食を通して世界には多様な文化があることを知り、違いを受け入れ共に生きることの大切さを考える機会となりました。日常生活の中での言葉遣いやあいさつに課題が見られますが、日々の関わりや道徳の授業で相手を尊重する気持ちや態度を育てます。今後も、様々な行事や授業を通して、学校とご家庭の連携により、幅広い人権感覚を身につけた心豊かな児童の育成に努めてまいります。

【問11】わたしは、友だちにやさしくしたり、みんなと
なかよくあそんだりしている。



4 健康な生活 体力づくり・安全な登下校⑫⑬

児童、保護者ともに9割以上が健康や体力作りに肯定的な評価の項目です。昨年度よりさらに意識が高まり、「早寝、早起き、朝ご飯」の徹底が進んでいます。体育の授業や元気アップでの基礎体力作りをご家庭と連携して継続していきたいと思ひます。また、毎朝の健康チェックなど、児童が主体的に自分の体調を意識する時間をもつことで健康を維持する力を育てていきます。感染症予防と基礎体力の向上のために、引き続きご支援をよろしくお願ひします

【問12】わたしは、しっかりよくしをして、あそびやうんどう
にとりくんでいる。

